

平成29年度 大東小学校関係者評価書

4段階評価 「4」～期待以上 「3」～ほぼ期待どおり 「2」～やや期待を下回る 「1」～改善を要する

評価項目	評価指標	具体的目標	学校の自己評価コメント	自己評価		学校関係者評価委員	
				学別	総合	評価	コメント
知に関する内容	◆「読み」「書き」「計算」「話すこと」の到達目標を基に、基礎学力の向上を図る。	○ 国語の教材文(指定した範囲)を、暗記して読むことができる児童90%以上を目指す。	<p>★平均82%</p> <p>○ 今年度は、朝の時間の活動を音読に絞って取り組んできた。暗記することを通して、すらすら読める児童が増えてきた。</p> <p>○ 達成率が90%以上になるように、左記の手立てを継続し、現状からの基礎学力の向上を目指したい。</p>	3			・暗記を通して読むことができることは、素晴らしい取組だと思えます。
		○ マス計算(各学年に応じた内容・量)を時間以内に正確にできる児童100%を目指す。	<p>★平均78.2%</p> <p>○ 授業の中に、計算プリントの学習を位置付けて取り組んできた。速く、正確に計算できる児童の割合が、依然として8割の現状である。全ての計算の基礎となるので、今後も継続していきたい。</p>	2	3	3	
		○ 学年の目標冊数を読書する児童100%を目指す。	<p>★平均88%</p> <p>○ 本年度から、学期ごとに目標冊数を設定した。その成果もあり、昨年度を上回る読書量であるが、個人差は解消されていない。次年度は、空いた時間に学級で図書室を利用することで、さらに読書を増やしていきたい。</p>	3			・読むことに楽しみをもつ児童が多くなることを願っています。

評価項目	評価指標	具体的目標	学校の自己評価コメント	自己評価		学校関係者評価委員	
				学別	総合	評価	コメント
徳に関する内容	◆ 基本的な生活習慣や社会的マナー・エチケットを身に付けた子どもの育成を図る。	○ 廊下の右側を静かに歩くことができる児童80%以上を目指す。	<p>★平均64.2%</p> <p>○ 1学期は44.5%だったので、ずいぶん落ち着いた廊下歩行も見られるようになった。その一方で、学級の様子が廊下歩行に影響して、廊下を走る児童が多い学年もあった。生徒指導主事を中心としながら、教師自身が積極的に指導していく体制を作っていく必要がある。</p>	2			
		○ 無言清掃が徹底してできる児童80%以上を目指す。	<p>★平均87.3%</p> <p>○ 目標は達成したが、もっと落ち着いて取り組む必要がある。また、清掃場所により、無言清掃に差がある。校内放送による意識付けも行ってきたが、もっと回数を増やし、無言清掃の意識付けを図っていく必要がある。</p>	3	3	3	・無言清掃は、よくできていると感じました。指導が行き届いていると思います。
		○ よりより人間関係づくりができる児童80%以上を目指す。 ・ 友達を「くん」「さん」で呼ぶ ・ 乱暴な言葉や人が嫌がる言葉を使わない。	<p>★平均79%</p> <p>○ 「くん」「さん」で呼ぶことについては、再三現場指導をするが、呼び捨てが定着した雰囲気も一部にあり、全体的に改善することが難しい現状である。</p> <p>○ 人間関係については、学年間で差が大きい。学級で諸問題が発生すると、それに合わせて言葉づかいも乱れてくる。そこで、言葉づかいの改善を通して、学級の諸問題解決につなげていきたい。</p>	2			・言葉づかいは、地域性もあり、難しいと思います。

評価項目	評価指標	具体的目標	学校の自己評価コメント	自己評価		学校関係者評価委員	
				教別	総合	評価	コメント
体に関する内容	◆ 体力向上プランに基づき、年間を通して主体的に体力を向上させようとする態度の育成を図る。	○ 上体起こし(体幹を鍛える運動)の県平均を上回る児童80%以上を目指す。	★平均60% ○ 朝の時間の体幹を鍛える運動を継続しているが、目標の80%には及ばなかった。全体として、向上はしているので、今後は、目標数値を見直すとともに、この取り組みを継続していきたい。	2	3	3	・今後のさらなる向上を期待しています。

評価項目	評価指標	具体的目標	学校の自己評価コメント	自己評価		学校関係者評価委員	
				教別	総合	評価	コメント
家庭や地域との連携に関する内容	◆ 家庭や地域と連携して、「早寝・早起き・朝ご飯」「弁当の日」等の運動を通して、子ども達の健全育成に努める。	○ 8時間以上睡眠時間を確保する児童80%以上を目指す。	★平均85.7% ○ 睡眠時間については、概ね満足の結果であった。保健について、外部講師を招いた指導が、食育に偏りがちであったので、生活習慣についての指導も検討していきたい。	3	3	3	・昔から指摘されてきました。保護者の意識改革が必要です。
		○ むし歯を治療する児童75%以上を目指す。	★66%(1月現在) ○ 養護助教諭による歯みがき指導や、個別の治療勧告も行ったが、75%に及ばなかった。保護者への啓発の難しさを実感しているが、根気強く治療の大切さを訴えていきたい。	2			